

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で28,000cells/ml、シャットネラ属が182cells/ml、ケラチウム属が13cells/ml、確認されました。

**カレニア・ミキモイが浦ノ内湾の広い範囲で漁業被害が想定される密度を大きく超えており、シャットネラ属も漁業被害が想定される密度を超えている地点がありました。また、浦ノ内湾の広範囲で海水の着色が確認されました。**

今後も増殖・拡大が想定されますので、**餌止めなど慎重な養殖管理**をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモイ	ケラチウム属	シャットネラ属	ケイ藻類
鳴無	0.5m	6	8	97	わずか
	2m	9	0	16	わずか
	5m	1	1	0	わずか
中学校前	0.5m	6,800	12	182	わずか
	2m	3,200	8	31	わずか
	5m	0	2	1	わずか
目ノクソ	0.5m	12,000	13	14	わずか
	2m	5,200	13	15	わずか
	5m	6	1	0	わずか
光松	0.5m	28,000	12	10	わずか
	2m	26,000	10	1	わずか
	5m	170	0	0	わずか
大鹿	0.5m	18,000	13	10	わずか
	2m	5,600	4	1	わずか
	5m	530	1	0	わずか

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml～(餌食いの悪化)

